

平成29年度東金市立東金中学校 第2回学校運営懇談会 議事録

1 日 時 平成30年1月27日(土) 16:00

2 会 場 東金市立東金中学校 校長室

3 出席者 大木 宏之 様(東金中学校後援会 会長)
伊藤 昌男 様(嶺南地区 地区会長)
山本 博泰 様(正木地区 地区会長)
豊田 和雄 様(福岡地区 地区会長)
久米 正広 様(主任児童委員 福岡地区)
廣瀬 惣一 様(東金中学校 PTA会長)
吉野 正弘 様(東金中学校 PTA副会長)
野口 博明 (東金中学校 校長)
中村 之彦 (東金中学校 副校長)
秋元 文彦 (東金中学校 教頭)
椎名 慶久 (東金中学校 主幹教諭 *進行)
大関 利明 (東金中学校 主幹教諭 *記録) 以上12名

4 会次第 ①委員長あいさつ
②校長あいさつ
③自己評価解説
④懇談会委員評価
⑤連絡事項

5 議事

(1) 自己評価結果及び解説(学校)

- 「2学校施設」、「9環境整備」、「13身だしなみ」は、肯定的意見がほぼ90%以上を占め、学校環境や生徒の状態の良さが反映されている。
- 「5いじめ」、「7相談」、「8評価」、「11交通ルール」、「12あいさつ」、「14清掃」は、改善傾向にあるものの、生徒・保護者と職員の意見に開きが見られるので、今後より一層努力していく必要がある。

(2) 懇談会委員評価〔自己評価結果及び保護者の自由記述をふまえて〕

- 来年度の運動会は、紅白か五色か?(委員)
- 来年度も全学年5学級のため、五色を予定している。生徒も五色を希望する意見が多く、縦割り・兄弟学級で実施するメリットもあり、生徒一人一人の活躍の機会も

増えることから、五色のほうが教育的効果が高いと思われる。(学校)

○教育困難指定校とは何か？(委員)

→学力が低い現状を指しているのではないか。学校では夏休みやテスト前に補習を行うなど、さまざまな対策を講じている。(学校)

○小学校も含めて、東金市全体の学力が低いので、仕方がないのでは？(委員)

→現実的には、中1で算数の九九ができない生徒もいる。また、「中1ギャップ」にはさまざまな要因があるが、学力不振が最大の要因と考える。とくに小学校は3段階評価のため、評価内に大きな学力幅があり、保護者の正確な学力把握が難しい。中学校は5段階評価となり、テストで順位も公表しているため、子どもの実際の学力を知り、ギャップを感じる保護者が多い。(学校)

→小学校から基本をしっかりと身につけさせてほしい。(委員)

○いじめはあるのか？(委員)

→現在、国はいじめを積極的に認知・把握していこうという動きになっている。けんかもいじめと認知する。本年度は、40件程度は学校で把握している。(学校)

○保護者や生徒からいじめに関する相談はあるのか？(委員)

→保護者からの相談は少ない。生徒については、いじめも含めて、各学期2回ずつアンケートを実施して、その結果をもとに聞き取りや相談を随時行っている。(学校)

○アンケートは記名か無記名か？(委員)

→どちらでも良い形式のアンケートを実施している。(学校)

*いじめ対策について(学校)

現在、スマホの対応に苦慮している。子どものスマホ所持率が年々高くなり、子ども同士の情報伝達が早く、見えづらくなっているため、職員がすべてを把握するのは現実的に困難な状況になっている。そこでスマホ使用に関する啓発活動の一環として、学校では情報モラル教室を実施している。先日〔1月24日(水)〕は保護者を対象とした新入生説明会においてスマホの危険性を訴えるとともに、本日〔1月27日(土)〕も1年生を対象に実施した。ともに県警本部から専門家の講師を招いて実施した。

○自由記述は少数意見なのではないか？(委員)

→資料には自由記述をすべて載せているため、少数意見と思われる。(学校)

→少数意見を「すべて」ととらえず、一意見として受け止めれば良い。(委員)